

○堺市・美原町の財政現況について

市町村建設計画の検討の一環として、両市町の財政状況について、下記のとおり説明がありました。両市町とも、平成14年度の実質収支については、黒字となっています。

平成14年度 普通会計決算見込み			主な歳入歳出		
(単位:百万円)			(単位:百万円)		
決算収支	堺市	美原町	歳入総額	266,545	11,738
歳入総額	266,545	11,738	地方税	120,038	6,230
歳出総額	264,950	11,643	地方交付税	26,200	1,116
実質収支	153	84	国・府支出金	45,209	1,273
単年度収支	41	▲ 14	地方債	21,061	893
			歳出総額	264,950	11,643
			普通建設事業費	34,246	1,325
			人件費	57,175	3,218
			物件費	29,328	1,883
			扶助費	53,397	1,286
			公債費	29,877	1,113

主要財政指標			(単位:百万円)		
	堺市	美原町			
経常収支比率	98.3%	94.9%			
公債費比率	16.0%	12.3%			
積立金現在高	28,819	7,441			
地方債現在高	268,844	10,172			
標準財政規模	151,618	7,701			

実質収支…… 歳入総額から歳出総額を差し引いた額から、翌年度に繰り越すべき財源を控除したもので、前年度以前からの収支の累積を表す。

単年度収支…… 当該年度の実質収支から、前年度の実質収支を差し引いた額。歳入には前年度からの繰越金が含まれるので、この単年度収支が当該年度のみ収入と支出の差を表す。

経常収支比率…… 財政構造の弾力性を判断するための指標で、この比率が高いほど、臨時的財政需要に充当できる経常余剰財源が少なく、財政の硬直化が進んでいるといえる。

公債費比率…… 公債費の財政負担の状況を示す指標の一つで、この比率が高ければ財政硬直化の一因となるものとされている。

標準財政規模…… 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示す。

協議のなかから

以下のような内容の意見がありました。

[協議第9号 市町村建設計画関連]

- ◆ 美原新拠点の整備について、誰もが利用しやすいものとするとともに、周辺環境にも配慮するように、また、バス交通の利便性の向上と幹線道路や歩行者優先の道路整備について、具体的な計画に反映されたい。
- ◆ まちづくりの方向性自体は問題ないと思う。次回に提案予定の施策展開や事業計画は、さらに重要である。

[協議第14号 消防団の取扱い関連]

- ◆ 美原町の消防団は、これまでの実績から地域の自主防災・初動消火などで果たす役割が大きく、提案どおり存続を求める。